

香川県産小麦が収穫最盛期！ (香川県産小麦プレスツアーのご案内)



香川県では、古くから温暖少雨の気候を生かして良質な小麦が栽培されており、現在は、県オリジナル小麦「さぬきの夢2009」の作付面積が約2,500haまで拡大するとともに、さぬきうどんをはじめ、素麺や菓子など多様な用途で利用が拡大しています。

また、令和3年産からは、新たにパン用小麦「はるみずき」の栽培も始まっています。

この度、収穫最盛期を迎えた香川県産小麦のうち、「さぬきの夢2009」の現地ほ場で収穫作業や農業生産法人等を取材いただけるプレスツアーを開催します。

- 1 日時 令和6年5月30日(木) 午前10時00分～11時00分
(集合：午前9時50分)
- 2 集合場所 (株) KAWASOME (ファーム) <綾川町羽床下182周辺ほ場>
- 3 内容 (※裏面地図参照)
 - (1) 香川県産小麦「さぬきの夢2009」と「はるみずき」のご紹介
 - (2) 農業生産法人「(株) KAWASOME (ファーム)」による「さぬきの夢2009」に関する取材対応と収穫作業のデモンストレーション



小麦の収穫風景



小麦の原麦



(株) KAWASOME (ファーム)



うどん



そうめん



餃子



クッキー



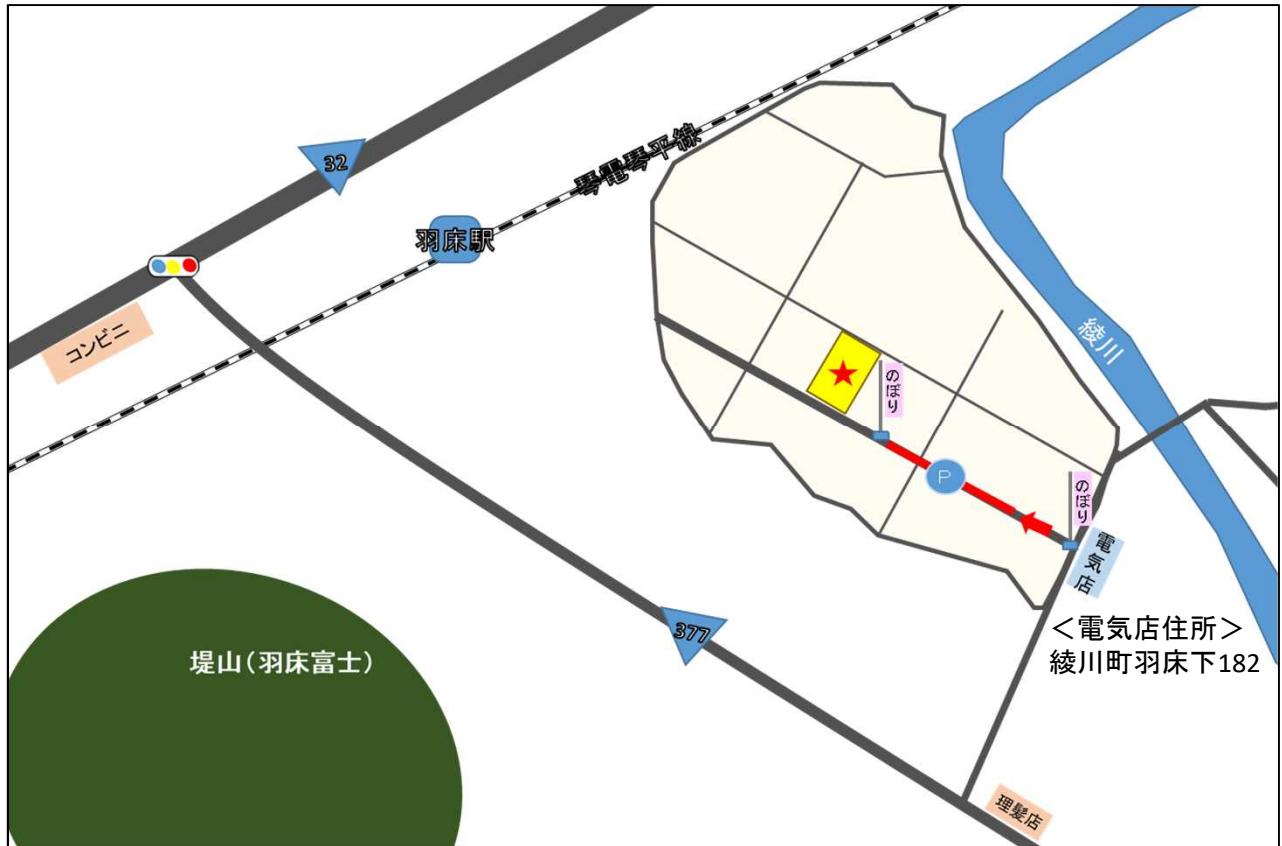
※取材に関するお願い

○取材いただける場合は、**5月29日(水)17時までに農業生産流通課までご連絡**いただきますようお願いいたします。

○雨天の場合は、中止になります。中止の場合、5月29日(水)15時に報道提供します。

集合場所：（株）KAWASOME（ファーム）

（綾歌郡綾川町羽床下182周辺ほ場）周辺地図



○「さぬきの夢」の概要

「さぬきの夢」は、香川県農業試験場が、さぬきうどんのために開発した、香川県オリジナル小麦品種の総称です。「地元的小麦で、さぬきうどんをつくりたい、食べたい」といった県内うどん業界や県民の熱い思いをうけて誕生した小麦です。

現在では、うどん以外にも素麺やお菓子、お好み焼きなどさまざまな商品に利用されており、楽しみ方が広がっています。

- 栽培地域 : 香川県全域
- 栽培面積 : 2,552 ha (令和5年産)
- 生産量 : 8,646 t (令和5年産)
- 分類 : 中力粉



○「はるみずき」の概要

「はるみずき」は、農研機構西日本農業研究センターにおいて育成された、西日本の主要なパン用小麦品種です。香川県では、令和3年産からさぬき市、東かがわ市で栽培を開始しました。「はるみずき」はタンパク質含有率が高く、パン生地の弾力性が強いパンに向いています。

- 栽培地域 : 西日本
- 栽培面積 (香川県) : 73 ha (令和5年産)
- 生産量 (香川県) : 300 t (令和5年産)
- 分類 : 強力粉

